

テーマ		課題と関連する地元説明会及び地元代表協議会委員から提出された主な意見や要望	教育委員会の考え方、対応		
			「千葉市学校適正配置実施方針」に明記した考え方や対応 ※対応する部分を抜粋	その他	
1 第1次の取り組みとの関連		第1次の取り組みでの論議はどうなったのか。		「幸一小と幸四小の統合について協議を継続する上での課題（条件）」（平成18年3月2日提出）については、第2次千葉市学校適正配置検討委員会においても検討していただき、「千葉市学校適正配置実施方針」に反映させています。 ※別紙資料「◎第1次の取り組みの際の幸町地区の課題」を参照。	
2 学校適正配置の必要性	①適正配置の趣旨	教育の質の充実をどのように図るのか。 小学校の適正配置は地域密着で安全、安心な学校づくりという視点で、中学校の適正配置は教育の質や設備の充実という視点で行ってほしい。 地域全体で安全面なども含めて地域と一体となった誇れる学校区にしたい。 小規模、大規模それぞれのメリットを最大限発揮できる工夫が必要である。	【実施方針策定の趣旨】 子どもたちのよりよい教育環境の整備と教育の質の充実を目的とした学校適正配置を推進するため、実施方針を策定する。	「学校規模を適正化する効果」については、次のように考えています。 ○大きな集団での学習活動と小グループでの学習活動が展開でき、個に応じたきめ細かな指導と集団の相互作用を生かした指導が行えること。 ○子どもたちが豊かな人間関係を通して、社会性を身につけていくことができること。 ○より充実した教員配置を行うことができ、教員同士が互いに切磋琢磨できること。 ※別紙資料「学校の適正規模について」を参照。	
		②適正配置に係る教育環境整備	きめ細かな指導を継続してほしい。 増置教員の継続配置をしてほしい。 統合前の各学校の教員をバランス良く配置してほしい。 スクールカウンセラーはどのような派遣になるのか。	【統合に伴う教育環境整備】 統合に伴う環境変化等に対応するとともに、きめ細かな指導を行うため、教員の増置及びスクールカウンセラーの派遣を行う。また、職員の配置に当たっては、児童・生徒の心理的な面を配慮するとともに、地域性を理解した教育の推進が図れるよう、統合前の職員をバランスよく配置する。	教員の負担が増えるという不安については、次のように考えています。 ○より充実した教員配置により校務分掌等を分担することができれば、事務等の仕事を減らすことができる。 ○学年や各教科の教員が複数いれば、互いに情報交換したり相談したりしながら子どもたちの指導を行うことができる。
	教員の負担増加が心配である。 学級の人数が増えれば、教員の負担が増え、一人ひとりの子どもを見る余裕がなくなるのではないか。				
	リニューアルの具体的な状況はどうか。		【統合に伴う教育環境整備】 ○施設・設備面において、機能的に新設校と同等程度の整備を実施する。 ○大規模改修を基本として・リニューアルを実施する。 ○耐用年数等により、大規模改修では対応できない校舎については、改築を検討する。		
	3 地域との関連	①街づくり	団地再生、再編問題に伴い、適正配置は街づくりの観点から団地の将来図と重要に関わる。 将来の地域と学校適正配置との関係について考えていきたい。		団地再生、再編状況を見据えながら協議を進めていただくよう考えています。
②防災関係		学校が統合された場合、避難所はどうなるのか。	【統合による跡施設利用の基本的な考え方】 ○費用対効果を勘案し、有効活用することを原則として検討する。 ○有効活用の検討に当たっては、地元の要望に配慮するとともに、全市的な行政施策との調整を図りながら別途利用計画を策定する。	協議会において、今後十分に協議していただきます。	
③子どもルーム・特別支援学級		学校が統合された場合の子どもルームの設置はどうなるのか。	【統合に伴う教育環境整備】 ○子どもルームについては、放課後子ども教室との連携を考慮しつつ、既存施設の活用等利用児童の状況や、当該地域の設置状況等を総合的に勘案し検討することとする。 ○特別支援学級や適応指導教室が設置されている学校については、統合後も引き続き活用が図れるようにする。		